

事後評価報告書

令和6年2月8日(木)

研究種別	県単(戦略)	
研究課題名	富士の介等の機能性面からの魅力向上	
研究期間	令和4年度 ~ 令和5年度	
	評価項目	評価点
1	研究目標の達成度	4.0
[評価所見]		
<p>期待された筋肉へのビタミンDの蓄積については認められなかったが、増強剤を添加をしない状態で他魚種に比べビタミンDが高く、さらに未利用部位に多く存在していることなど、富士の介の新たな有効活用や機能強化のための基礎情報が得られている。また、研究成果をもとに商品開発に向けた取り組みが進められていることも、有効な成果が得られていると評価できる。</p> <p>食味に加え栄養面からも優れた魚であることが明らかとなり、山梨県産養殖魚のブランド力向上に資する成果が得られている。一方、富士の介の情報は未だ広く知られていないため、本研究の成果を活用するなかでさらなるPRに期待したい。</p> <p>皮や内臓といった未利用部位にビタミンDが多く含まれることが明らかとなり、加工品等への利用が期待できる。</p>		